

©Private



当局による拉致
事件を調査して
拉致される

イブリス・ハタック
パキスタン



WRITE A LETTER
CHANGE A LIFE



娘たちからは「熱心だけど下手な料理人」と呼ばれているイドリス・ハタックさんは、好奇心が旺盛である。ロシア語を話し、食べるように読書し、鶏を飼い、鶏に話しかけるのが大好きである。

イドリスさんはまたパキスタンの強制失踪の専門家である。彼は長年調査し、アムネ스티やヒューマン・ライツ・ウォッチに情報を提供してきた。しかしそのイドリスさん自身が当局の標的になった。

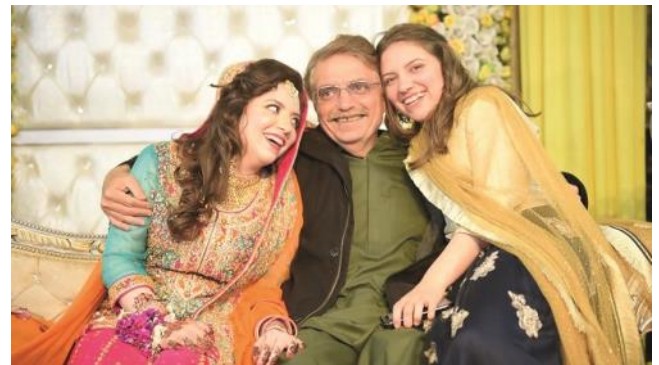
昨年11月13日のことだった。イドリスさんは首都イスラマバードから自宅へ移動中に車を奪われ、それ以来行方が分からなくなった。パキスタンでは、イドリスさんのような人権擁護活動家が、口封じのために拉致されることが多発している。

イドリスさんの娘のタリアさん(20歳)は、周囲の警告にもかかわらず父親の帰還を求めて、アムネスティと活動を始めた。タリアさんの勇気ある行動が実を結び、今年6月、当局はイドリスさんの拘束を認め、公務機密法に基づいて起訴するつもりであることを明らかにした。しかし当局はいまだ拘束場所を公表していない。

家族は イドリスさんがスパイ活動容疑で起訴されるのではないかと心配する。有罪になれば14年の刑か、場合によっては死刑を受けるおそれがある。

「パパの写真を見て、パパが今にも帰宅してこの部屋に入ってくることを思い浮かべます」とタリアさんは話す。「私たちは真実を知り、パパは法の保護を受ける権利があります。」

パキスタン当局にイドリスさんを釈放するように要請してください。



©Private

パキスタン首相に
手紙を書いてください

イドリスさんの釈放を求めてください。すぐに釈放しないのなら、国際的に認知された犯罪の容疑を裏付ける適格で信頼性ある証拠を明らかにし、民間法廷で公正な裁判を行うように要請してください。

E-mail: info@pmo.gov.pk / spm@pmo.gov.pk
Twitter: @ImranKhanPTI

Your Excellency,

I urge you to release Idris Khattak, Pakistan's expert on enforced disappearances, who has himself been subjected to enforced disappearance.

If there is credible and admissible evidence that he has committed an internationally recognized crime, then please try him promptly and fairly in a civilian ordinary court, without recourse to the death penalty. If not, release him immediately and unconditionally.

You once made a promise to make enforced disappearance a crime under national law. Now is your chance to honor that pledge.

Yours sincerely

イドリスさんの家族を支援していること
を伝えてください

娘のタイラさんとシュマイサさんに支援メッセージを送ってください。イドリスが喜びそうな本やご自身のガーデニングの写真があれば、送ってください。

ツイートは@TaliaKhattak と @shumaisa77 へ。

Amnesty International South Asia
Regional Office
23/2 Horton Place
Colombo 07
Sri Lanka **Air Mail**

Prime Minister Imran Khan
Prime Minister's Office
Constitution Avenue G-5/2
Islamabad, Pakistan **Air Mail**

〒106-0047
東京都港区南麻布4-6-17
パキスタン・イスラム大使館